

2025年度

枚方市立第四中学校

1年3学期シラバス集

学習進路指導部

1. はじめに

大阪府では、各評価が目標に準拠した評価(絶対評価)で行われています。これに伴い、評価の規準についてもより明確になっています。

2. 通知票及び調査書の評価基準について

各科目(国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・美術・技術家庭・外国語の9教科)について、3観点があります。

各教科それぞれ3観点について、A,B,Cの評価をつけ、その観点別評価【表1】から、教科として5段階評価(5、4、3、2、1)の総合評定【表2】をつけます。

それぞれの評価基準については、次の表に記します。なお、この評価は、枚方市内統一の評価基準となります。

【表1】

観点別評価		目標到達度
A	十分満足できる	75%以上
B	おおむね満足できる	40%以上
C	努力を要する	40%未満

※表1の観点別評価を、A…3点、B…2点、C…1点に換算し、下の表2に当てはめます。

【表2】

総合評定		観点評価合計	目標到達度
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	9点	85%以上
4	十分満足できる	8点以上	75%以上
3	おおむね満足できる	5点以上	40%以上
2	努力を要する	3点以上	
1	一層努力を要する	3点	20%未満

(「観点評価合計」と「目標到達度」の両方を満たすことが必要になります。)

※表1と表2を総合的に判定しますので、例えば観点別評価「AAA」の生徒であっても、総合評定「5」がつく場合と「4」がつく場合があります。

3. 調査書対象学年について

平成30年度入試以降は入学時よりの成績が対象となっています。

入試	対象学年	比率
平成30年度入試以降 (現1～3年生)	第1学年～第3学年	(第1学年:第2学年:第3学年 =1:1:3)

「絶対評価」とは、学習指導要領に示す目標をどの程度達成できたか、達成状況を見るための評価です。個人の努力がそのまま反映されますので、本校では、各教科シラバスを作成し、授業や提出物、テストなどの生徒の日常の頑張りを評価していきます。

毎回の授業を大切に、毎日の学習にしっかり取り組んで、自分の力をどんどん伸ばして欲しいと思います。

※シラバスは、現時点での予定を示したものです。従って、授業の進捗等により、多少変更する場合があります。

国語【1年3学期】

	教材の種類・単元名	到達目標
1月	詩：それだけでいい	・存在するものに対して、作者の注目すべき点を理解する。 ・作品の構成の工夫を読み取り、その効果について自分の考えを持つ。
	グループディスカッション	・話題や展開にそって話し合いをつなげるための方法を理解する。
2月	小説：「トロッコ」	・場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈する。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化等について、描写をもとに捉える。
	説明文：「1000円の価値を考える」	・文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握する。
	○テスト等：学期末テスト・漢字テスト 【範囲】「それだけでいい」・「グループディスカッション」・「トロッコ」・「1000円の価値を考える」 ○提出物：授業用プリントファイル・漢字ノート	
3月	説明文：意味と意図	・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確実なものにする。

観点別学習状況の評価対象と内容

① 知識・技能	30%	定期考査・漢字テストなど
② 思考・判断・表現	40%	定期考査・発表・作文・作品など
③ 主体的に学習に取り組む態度	30%	提出物・漢字ノート・授業態度など

社会【1年3学期】

分野		月	単元	到達目標
社会 A	歴史	1月	中世の日本②	・東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、東アジアの動きや民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し表現する。
		2月		
		3月	近世の日本①	・近世社会の基礎が作られたことを、背景を踏まえて理解し、交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと統一事業について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。
			・単元レポート(2回) ・予習プリント(3枚) ・ふりかえりプリント(3枚)	
社会 B	地理	1月～3月	世界の諸地域 (北アメリカ・南アメリカ・オセアニア)	・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 ・北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し表現する。
			・予習プリント(1枚程度) ・まとめプリント(2枚程度) ・授業ノート ・授業プリント	

観点別学習状況の評価対象と内容			
①知識・技能	30%	単元テスト・学年末テスト	
②思考・判断・表現	35%	単元レポート・学年末テスト・ふりかえりプリント	
③主体的に学習に取り組む態度	35%	学年末テスト・提出物(予習プリント・ノート・授業プリント) 授業に取り組む姿勢(発表等を含む)	

数学【1年3学期】

月	単元	項目	到達目標
1 ・ 2 月	6章 空間図形	1節 立体と空間図形 2節 立体の体積と表面積 3節 空間図形の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・空間における直線や平面の位置関係を理解し、立体を線分や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、立体を平面上に表現して、平面上の表現から立体の性質を見いだしたりすることができる。 ・基本的な柱体や錐体、球の体積と表面積を求めたり、複雑な立体の体積や表面積の求め方を考察し表現したりできる。
単元テスト2回(立体と空間図形、立体の体積と表面積) 章末テスト 提出物:ふり返しプリント ワーク～P.131 テスト解き直し2回分 章末プリント レポート1枚			
2 ・ 3 月	7章 データの活用	1節 ヒストグラムと相対度数 2節 データにもとづく確率	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解し、コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 ・目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ・多数の観察や多数回の思考の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、表現することができる。
単元テスト2回(度数分布表とヒストグラム、相対度数とヒストグラム) 章末テスト 提出物:ふり返しプリント ワーク～P.143 テスト解き直し2回分 章末プリント レポート1枚			
観点別学習状況の評価対象と内容			
知識・技能 (35%)		定期テスト・単元テスト等	
思考・判断・表現等 (30%)		定期テスト・単元テスト等	
主体的に学習に取り組む態度 (35%)		提出物・授業プリント、ノート、振り返り、授業態度等	

理科【1年3学期】

	月	教材の種類・単元名	到達目標
理 科 A	1月	物質分野 『身のまわりの物質』 1章	・物体を構成する物質について見分ける方法を説明できる。 ・物質の違いについて、重さや体積の違いから見分けることができる。 ・物質の密度を計算することができる。
		いろいろな物質とその性質	ガスバーナーのテスト、密度の計算の小テストを実施予定
	2月	2章	・身のまわりにある気体の性質を説明できる。
		いろいろな気体とその性質	・身のまわりにある気体の性質の違いから、それらを見分けることができる。
	3月	3章	・物質の溶け方について説明できる。
		水溶液の性質	・水溶液の濃度を計算することができる。 濃度の計算の小テストを実施予定
理 科 B	1月	4章 物質の姿とその変化	・身のまわりの物質の状態変化について説明できる。
	2月		・融点・沸点について理解できる。
	3月		・蒸留によって得られた液体のおもな成分を判断することができる。 ・グラフの書き方

観点別学習状況の評価対象と内容			
①	知識・技能	約33%	単元テスト・期末テスト・課題
②	思考・判断・表現	約33%	単元テスト・期末テスト・課題
③	主体的に学習に取り組む態度	約33%	提出物・課題

英語【1年3学期】

進度 予定	単元	到達目標
1月 — 2月	Program8 -Happy New Year!-	・現在進行形の意味や働きを理解することができる。 ・今していることについて伝え合うことができる。
	Power-Up4 -ショッピングをしよう-	・服屋などの店で買い物をするときに使う表現を理解することができる。 ・おすすめの商品の提案を聞き取ったり、色違いの商品を求めることができる。
	音読テスト・単元テスト	
	Program9 -A Trip to Finland -	・一般動詞の過去形の意味や働きを理解することができる。 ・過去にしたことを伝え合うことができる。
	Power-Up5 -インタビューを聞こう-	・ラジオのインタビュー音声を聞いて、内容を理解することができる。
	音読テスト・単元テスト	
2月 — 3月	Program10 -Grandma Baba's Warming Ideas! -	・be 動詞の過去形の意味や働きを理解することができる。 ・過去進行形の意味や働きを理解することができる。 ・過去のある時点で進行していたことについて伝え合うことができる。
	単元テスト	
	Our Project3 -私が選んだ1枚-	・自分が選んだ写真について相手に分かってもらえるように、簡単な語句や文などを用いて伝えたり、書いたりすることができる。
	Power-Up6 -絵はがきを書こう-	・海外に出す手紙の書き方を知る。

観点別学習状況の評価対象と内容
知識・技能(約33%)・・・定期テスト、単元テスト、提出物など
思考・判断・表現(約33%)・・・定期テスト、単元テスト、英作文、音読テストなど
主体的に学習に取り組む態度(約 33%)・・・授業の取り組み、発表、パフォーマンステスト、提出物など

音楽【1年3学期】

分野	単元	到達目標
歌唱	曲想を生かして合唱しよう。	・混声合唱の響きに関心を持ち、楽曲にふさわしい表現を工夫することができる。
器楽	LESSON2〔両手による運指〕	・両手の運指に気を付けながら、吹き方を工夫することができる。
	LESSON3〔サミング〕	・両手の運指やサミングに気を付けながら、吹き方を工夫することができる。
鑑賞	日本に古くから伝わる合奏を聴こう	・楽器の音色や旋律などに気を付けながら、雅楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
創作	日本の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう(12月から取り組んでいます)	・テーマに合った歌詞を自作し、歌詞の言葉の抑揚を生かした旋律を民謡音階を使って創作することができる。

観点別学習状況の評価対象と内容

知識・技能(35%)	小テスト・実技テスト
思考・判断・表現(30%)	実技テスト・ワークシート
主体的に取り組む態度(35%)	ワークシート・忘れ物・授業への取り組み

体育【1年 3 学期】

保健 体育	単元	到達目標	
	・持久走(12.1月)	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち技術の名称や行い方などを理解するとともに、ペースを守って走るなどといった基本的な動きや効率の良い動きを身に着けること。	
	・ハードル走(1.2月)	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち技術の名称や行い方などを理解するとともに、ハードルをリズムカルに走り越えることができるようになる。	
	・サッカー(2.3月)	・蹴る、止める、運ぶといったボール操作をしたり、ボールを受けることのできる位置に動いたりして攻守入りまじったゲームができるようになる。チームの特徴に応じた攻め方を知り、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てゲームに生かすことができる。	
	・保健(心身の機能の発達と心の健康) ○単元テスト(2～3月)	・心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。	
	通知票の観点別学習状況の評価対象と内容	・知識・技能・・・技能テスト・小テスト	50%
	・思考・判断・表現・・・小テスト・振り返り・授業の様子 単元レポート	25%	
	・主体的に学習に取り組む態度・・・授業態度、忘れ物、見学 出欠状況	25%	
		合計100%	

美術【1年3学期】

月	分野	単元	到達目標
1～2月	デザイン	オリジナルマーク (切り絵)	色紙の特性、色あいに着目し、イメージなどをとらえ、加工方法を工夫して見通しを持って表すことができる。
			色紙の特性や美しさ、色の配置や人に与えるイメージの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。
			色紙の良さや使いやすさなどを生かして作ることに関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。
2～3月	絵画	動く絵 (フェネキティスコープ)	形や色彩、全体の様子などに着目し、そこから生じるイメージをとらえ、道具の使い方を工夫したりすることができる。
			考えたイメージをもとに、形や色彩、構図などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。
			印象的な絵柄を考え、課題の特徴をとらえて表すことに関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。
観点別学習状況の評価対象と内容(合計:300 点)			
知識・技能 (30%、60 点)			作品等
思考力・判断力・表現力 (40%、80 点)			計画表、インタビューシート、鑑賞シート、自己評価表等
主体的に取り組む態度 (30%、60 点)			授業態度(意欲・提出物等)、F シート等

技術家庭【1年3学期】

技術分野			
月	分野	単元	到達目標
1 2 3	(技術) 材料と加工の技術	材料に適した加工方法	・目的とする加工に応じた工具や機器について理解する。
		丈夫な製品を作るために	・構造と部材を丈夫にする方法について理解し、まとめることができる。
		設計・製作	製作に必要な図を理解し表せる。 工具や機器を安全に使用することができる。 部品加工、組み立て及び仕上げ作業が正確にできる。
家庭分野			
月	分野	単元	到達目標
1	(家庭) 私たちの衣生活	衣服の選択と手入れ	衣服の状態に合わせた、適切な手入れができる。 衣服の補修ができる。
2		生活を豊かにするために	持続可能な衣生活を目指して、自分ができることを考える。
		実技テスト:まつり縫い	
3	(家庭) 私たちの住生活	住まいの役割と安全な住まい方	日本の住まいの特徴を知る。 防災を意識した工夫を考え、家庭で実践することができる。 持続可能な住生活を目指して、自分ができることを考える。 自分の理想の住まいを考え、周りに伝えることができる。
		題材のまとめテスト:1回	
点別学習状況の評価対象と内容 以下の①②③を均等の割合で評価します			
①知識・技能			提出物・テスト・実習製作品
②思考・判断・表現			テスト・提出物・実習製作品
④ 主体的に学習に取り組む態度			授業態度(意欲・提出物など)